

第1章

ハードウェア

宮田 賢一

ラズベリー・パイ4(Raspberry Pi 4)の国内販売は2019年11月に開始されました。販売開始以来、しばらくは品薄状態が続いていましたが、既に解消してい

ます。入手しやすくなった今、ラズベリー・パイ4に重点を置いて、ラズベリー・パイの特徴を整理します。

1 歴史

ラズベリー・パイは、2012年2月に初代が発売されてから、2019年12月時点で3,000万台出荷されました⁽¹⁾。ここでは、ラズベリー・パイの歴史を振り返ってみます。

ラズベリー・パイ各モデルの発売時期を図1に示します。年表形式にプロットしています。

初代(Raspberry Pi Model B, 写真1)は2012年2月に発売されました。当時は、Arduinoによって一般の

人でも気軽にマイコンを使った電子工作ができるようになっていました。しかし、本格的なIoTアプリケーションを作るにはまだ開発/実行環境が不足していました。そこに「Linuxが動作する安価なマイコン」として使えるラズベリー・パイが登場しました。マイコンで高度なソフトウェア開発がしたいというユーザが多数、ラズベリー・パイの世界に参入してきました。

初代から3年後にラズベリー・パイ2が発売され、

シリーズ	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
Raspberry Pi	●B	●A	●B+ ●A+						
Raspberry Pi 2				●B		●B (V1.2)			
Raspberry Pi 3				●B			●B+ ●A+		
Raspberry Pi 4							●B	●B (8Gバイト)	
Raspberry Pi Zero				●V1.2 ●V1.3	●W	●WH			
Raspberry Pi Compute Module			●1			●3/3Lite		●3+/+3Lite	

図1 ラズベリー・パイの歴史 (太字は搭載プロセッサの型名、●はModel名)